

産 業 厚 生 常 任 委 員 会 資 料

令和4年8月12日

産業振興部 農地整備課

目 次

・鳥獣被害の状況と取組について

【被害状況】		P 1		
【イノシシ分布図と被害状況図】		P 2	～	3
【取組内容】		P 4	～	1 0
【実績から見る効果と検証】		P 1 1	～	1 2
【令和 4 年度からの取組】		P 1 3	～	1 5
【総括及び今後の方針について】		P 1 6		

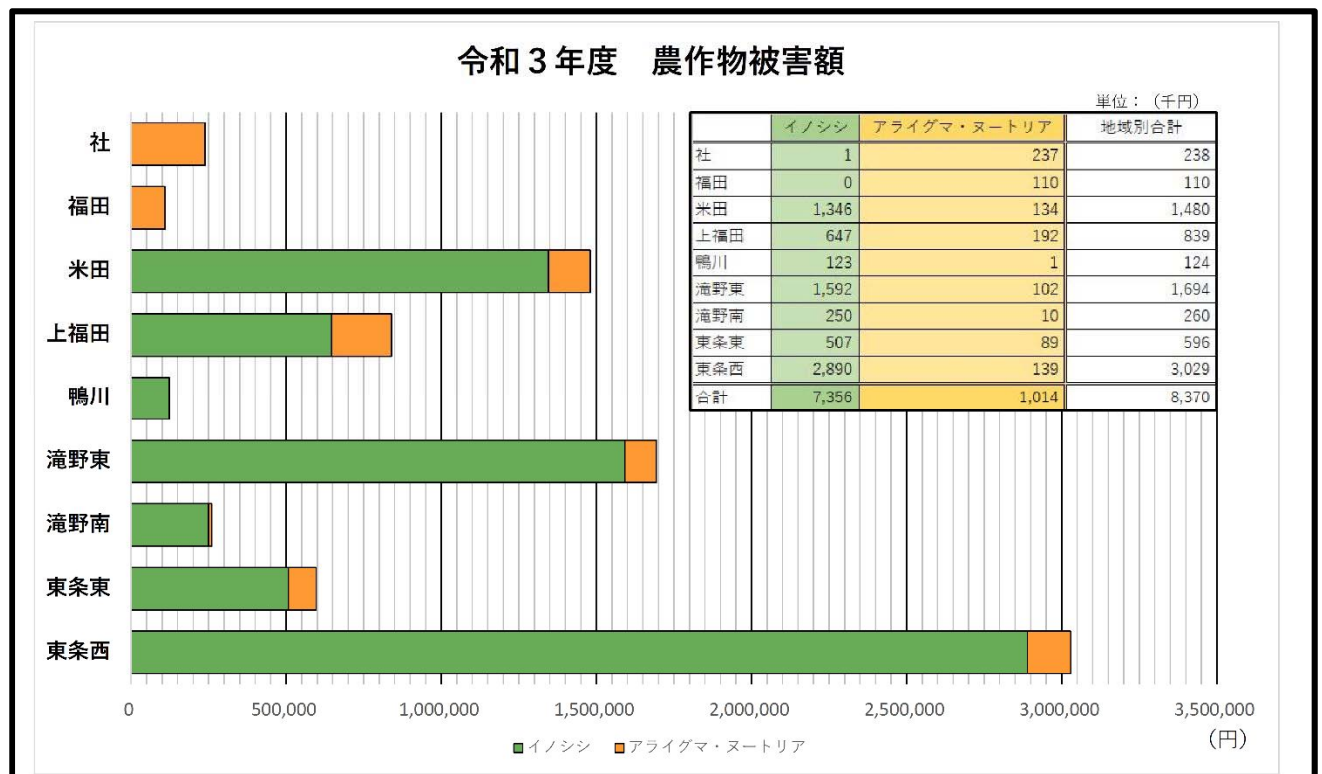
【被害状況】

・年度別被害金額の推移

(単位：千円)

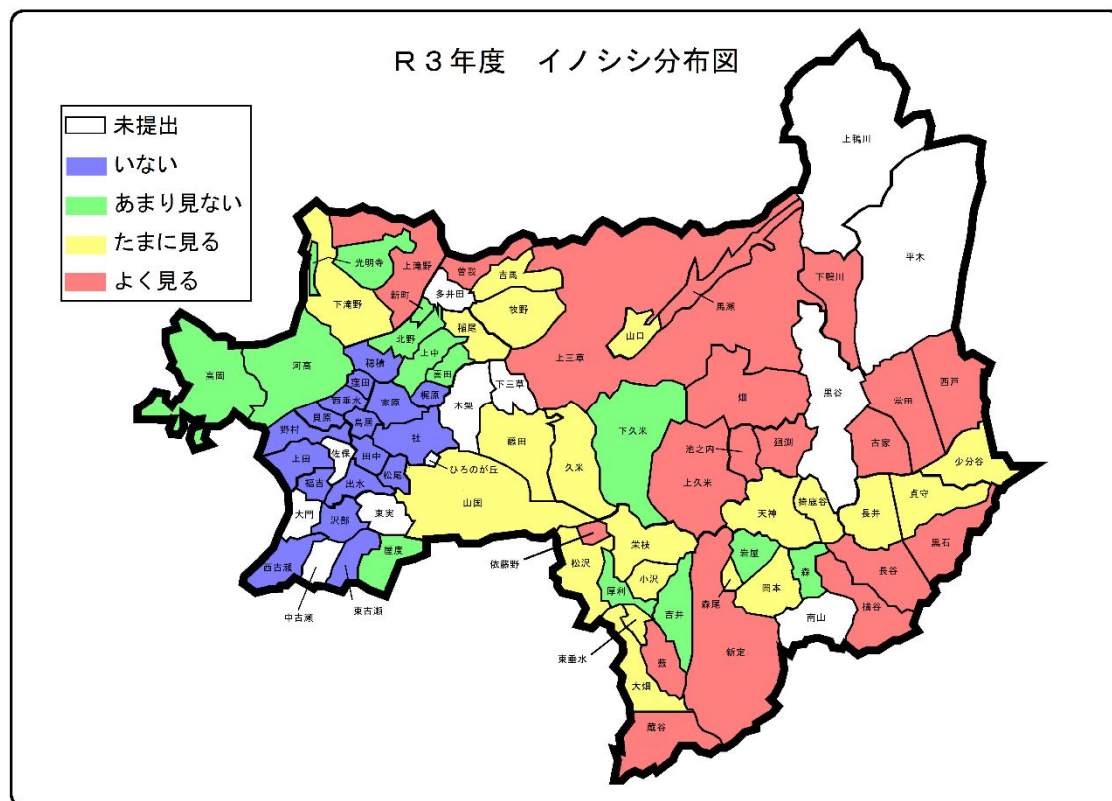
年 度	イノシシ	シカ	カラス	アライグマ ヌートリア	合計
平成 30 年度	5, 591	232	441	599	6, 863
令和元年度	2, 931	152	381	961	4, 425
令和 2 年度	5, 423	12	0	826	6, 261
令和 3 年度	7, 356	0	0	1, 014	8, 370

※農業共済の被害面積ほか、捕獲要望書及び被害状況報告により把握している被害面積に
県単価を乗じて計算



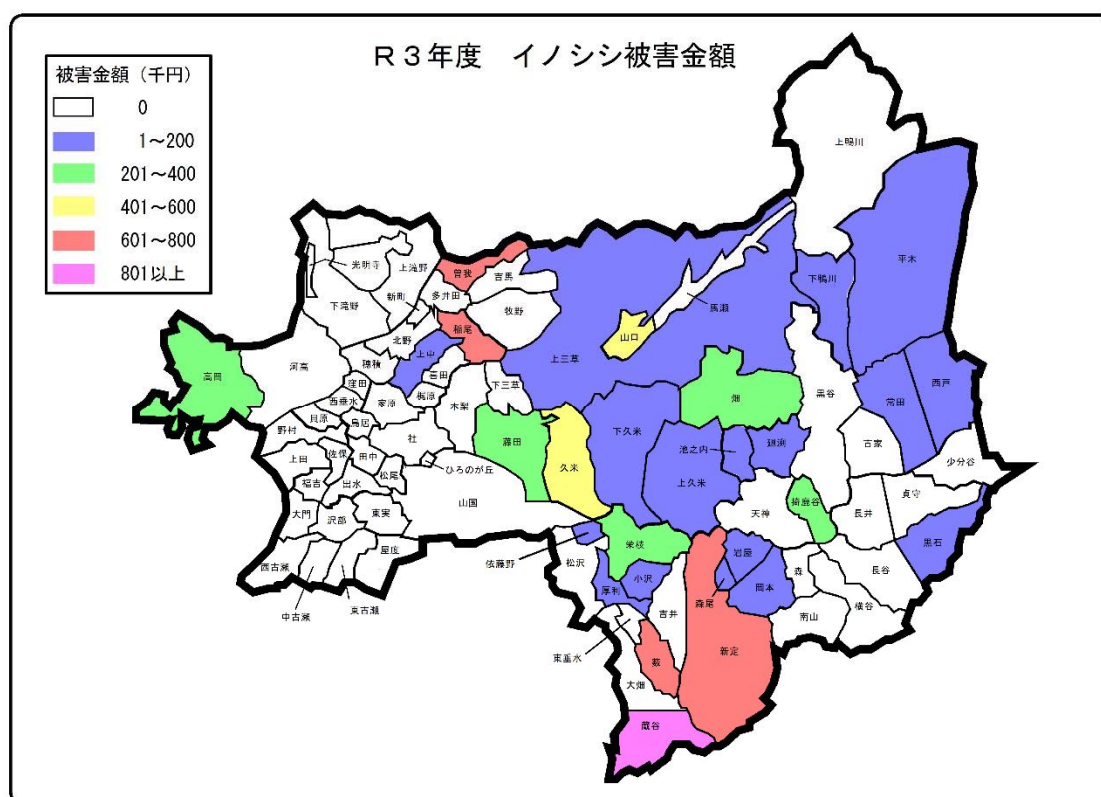
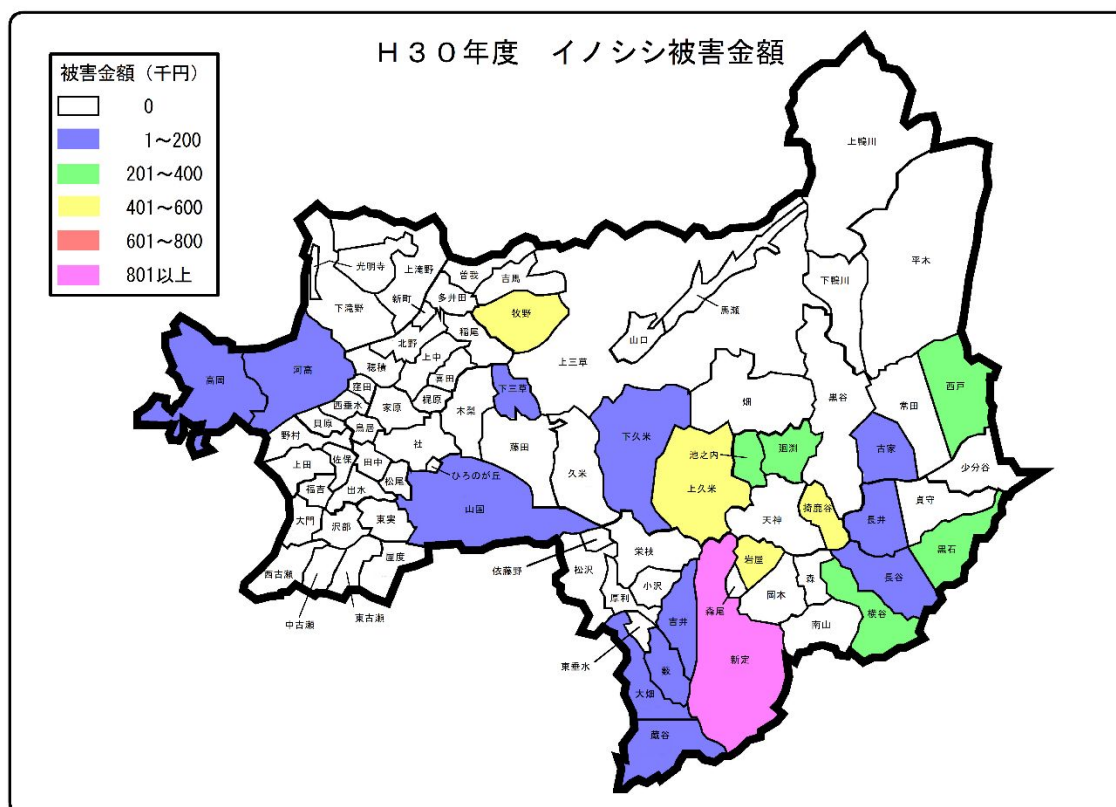
毎年イノシシによる被害が大部分を占めており、米田地区、滝野東地区、東条西地区で被害金額が突出して多くなっている。

■イノシシ分布図（森林動物研究センターの獣害被害アンケート）



-2-

■被害状況図



平成 30 年度では、米田地区、東条地区での被害が中心となっていたが、加えて令和 3 年は上福田地区、滝野東地区での被害が発生している。金網柵の設置が進んだことにより、加害個体の活動範囲が金網柵設置をしていない地区へ拡大したことが要因と思われる。

【取組内容】

■加害個体（有害鳥獣・傷病対応）及び特定外来生物の捕獲

・加害個体の捕獲（有害鳥獣・傷病対応捕獲） (頭)

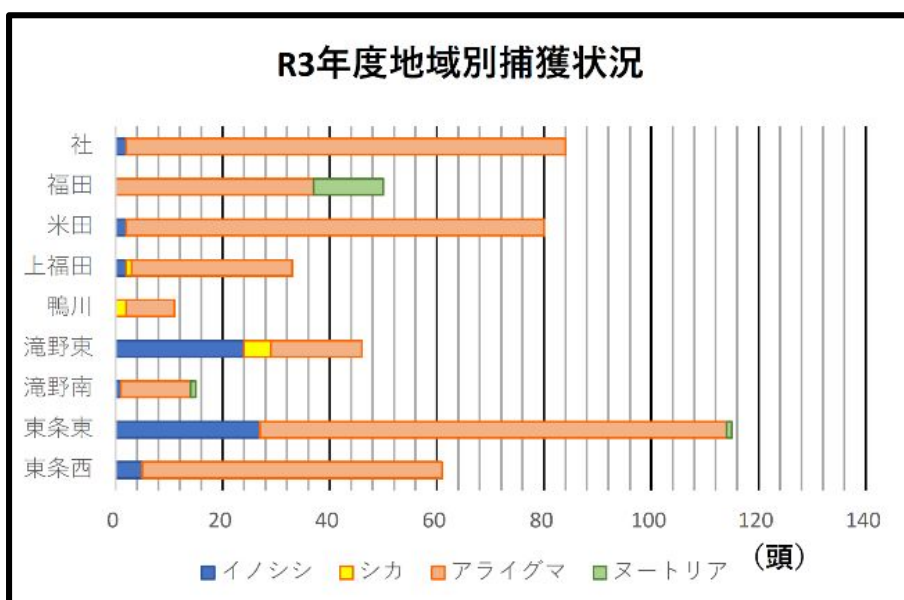
	H26	H27	H28	H29	H30	R 1	R2	R3
イノシシ	22	20	30	27	28	22	49	63
シカ	0	21	10	31	30	33	23	8

・特定外来生物の捕獲 (頭)

	H26	H27	H28	H29	H30	R 1	R2	R3
アライグマ	268	197	324	165	275	284	365	409
ヌートリア	51	40	25	65	23	26	40	15

・令和3年度有害鳥獣及び特定外来生物の地域別捕獲状況 (頭)

地域名	イノシシ	シカ	アライグマ	ヌートリア	合計
社	2	0	82	0	84
福田	0	0	37	13	50
米田	2	0	78	0	80
上福田	2	1	30	0	33
鴨川	0	2	9	0	11
滝野東	24	5	17	0	46
滝野南	1	0	13	1	15
東条東	27	0	87	1	115
東条西	5	0	56	0	61
合計	63	8	409	15	495



イノシシについては、令和3年度の捕獲数が平成26年度以降最多となっており、加害個体についても増加の傾向にあると思われる。

特定外来生物についても、令和3年度の捕獲数が平成26年度以降最多となっており、生息数が増加の傾向にあると思われる。

■金網柵の整備状況

鳥獣被害防止総合対策事業（国庫）を活用し、割り当てられた金額分について金網柵を地区へ配布している。

令和3年度末時点金網柵設置状況

	地区名	計画延長	R3年度末設置状況		令和4年度以降 設置予定
			延長(m)	設置率	延長(m)
1	社	0	0	-	0
2	山国	0	0	-	0
3	嬉野	0	0	-	0
4	松尾	0	0	-	0
5	出水	0	0	-	0
6	田中	0	0	-	0
7	鳥居	0	0	-	0
8	貝原	0	0	-	0
9	野村	0	0	-	0
10	西垂水	0	0	-	0
11	窪田	0	0	-	0
12	家原	0	0	-	0
13	上中	0	0	-	0
14	梶原	0	0	-	0
15	喜田	0	0	-	0
16	沢部	0	0	-	0
17	福吉	0	0	-	0
18	上田	0	0	-	0
19	大門	0	0	-	0
20	西古瀬	0	0	-	0
21	中古瀬	0	0	-	0
22	東古瀬	0	0	-	0
23	屋度	200	0	0%	200
24	東実	0	0	-	0
25	畑 ※	1,238	1,238	-	0
26	廻渕	0	0	-	0
27	池之内	0	0	-	0
28	上久米	0	0	-	0
29	下久米	1,670	990	59%	680
30	久米 ※	115	115	-	0
31	上三草	5,295	1,015	19%	4,280
32	下三草	1,050	750	71%	300
33	木梨	0	0	-	0
34	藤田	2,600	0	0%	2,600
35	山口	0	0	-	0
36	馬瀬	2,454	1,954	80%	500
37	牧野 ※	2,495	2,495	-	0
38	吉馬	1,600	0	0%	1,600
39	上鴨川	3,311	651	20%	2,660
40	下鴨川	5,099	3,844	75%	1,255
41	平木	7,980	5,870	74%	2,110
42	光明寺	4,232	3,432	81%	800

令和3年度末時点金網柵設置状況

	地区名	計画延長	R3年度末設置状況		令和4年度以降 設置予定
			延長(m)	設置率	延長(m)
43	上滝野	1,360	1,360	100%	0
44	下滝野	0	0	-	0
45	河高 ※	668	668	-	0
46	高岡	2,857	2,857	100%	0
47	新町	0	0	-	0
48	北野	0	0	-	0
49	穂積	0	0	-	0
50	稲尾	1,390	0	0%	1,390
51	曾我	0	0	-	0
52	多井田	0	0	-	0
53	天神	0	0	-	0
54	狛鹿谷	0	0	-	0
55	黒谷	0	0	-	0
56	古家	1,089	1,089	100%	0
57	常田	743	743	100%	0
58	西戸	0	0	-	0
59	少分谷	1,850	1,850	100%	0
60	貞守	2,765	2,765	100%	0
61	長井	837	837	100%	0
62	長谷	2,000	0	0%	2,000
63	黒石	0	0	-	0
64	横谷	0	0	-	0
65	森	0	0	-	0
66	岡本	2,181	2,181	100%	0
67	岩屋	574	574	100%	0
68	森尾	0	0	-	0
69	新定 ※	1,320	1,320	-	0
70	吉井	1,900	1,900	100%	0
71	小沢	1,122	1,122	100%	0
72	栄枝	1,847	447	24%	1,400
73	厚利	845	845	100%	0
74	松沢	1,610	1,610	100%	0
75	東垂水	0	0	-	0
76	大畑	5,269	2,789	53%	2,480
77	蔵谷	7,229	5,359	74%	1,870
78	藪	2,922	1,422	49%	1,500
79	依藤野	0	0	-	0
合計		81,717	54,092		27,625

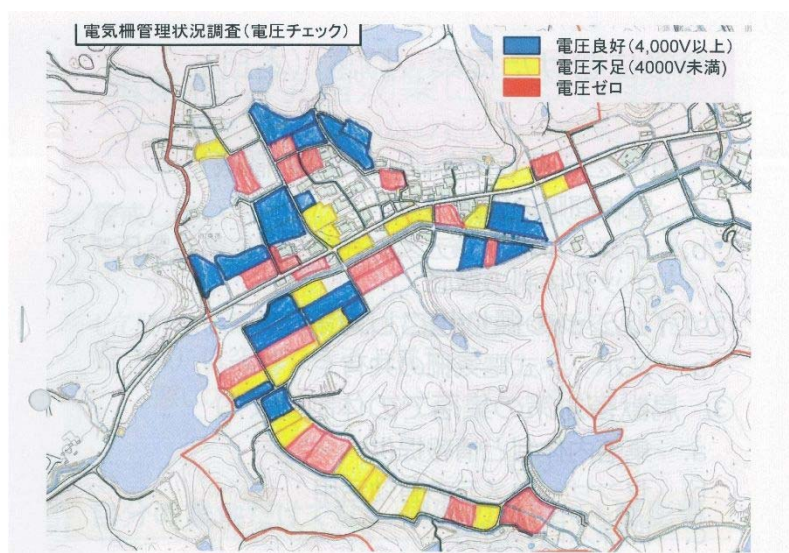
※ 地権者の同意を得られない等により、追加の計画を作成できていない地区

■鳥獣対策サポーター派遣支援事業

鳥獣被害対策に関する専門的な知識や技術をもった鳥獣対策サポーターを派遣し、現場調査や分析を行うことで地区の獣害に対する悩みを解決する。

年度	実施地区	実施内容
R2	池之内	被害状況調査、電気柵管理状況調査（写真 1）
	大畑	有害鳥獣の行動範囲や被害状況調査
R3	大畑	金網柵設置箇所と管理方法の指導（写真 2）
R4 （予定）	上三草	金網柵設置箇所の指導
	藤田	金網柵設置箇所の指導
	吉馬	金網柵設置箇所の指導
	稲尾	金網柵設置箇所の指導
	岡本	被害対策計画作成の支援
	蔵谷	金網柵の設置箇所と管理方法の指導

○電気柵管理状況調査（写真 1）



○金網柵設置箇所と管理方法の指導（写真 2）



■ 獣害ベルト緊急整備事業、森林整備事業

山すその木を伐採することで、人家や田との間にバッファゾーン（緩衝帯）を設け、野生動物と人の棲み分けを行い、農作物被害や野生動物が集落内に出没することを減らす。

令和3年度に地区への要望調査を行い、令和10年度までの実施計画を立てている。

森林整備事業実施予定地区 (ha)

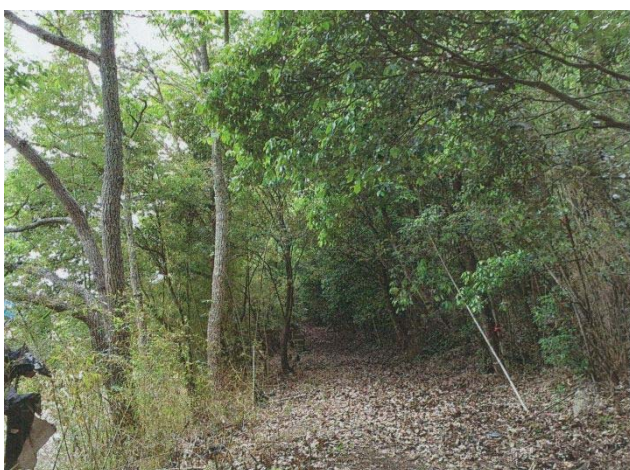
	地区	実施面積
1	喜田	0.66
2	東古瀬	1.68
3	下久米	0.91
4	上久米	3.22
5	森尾	1.30
6	吉馬	0.86
7	牧野	2.02
8	馬瀬	3.36
9	下鴨川	1.53
10	光明寺	5.00
11	吉井	1.84
12	岡本	3.30
13	岩屋	0.74
14	蔵谷	1.28
	合計	27.70

獣害ベルト緊急整備事業実施予定地区 (ha)

	地区	実施面積
1	上久米	1.46
2	吉馬	1.92
3	馬瀬	8.02
4	下鴨川	4.82
5	平木	3.90
6	厚利	2.64
7	大畑	2.80
	合計	25.56

○ 獣害ベルト緊急整備事業及び森林整備事業のイメージ図

・ 施工前



・ 施工後



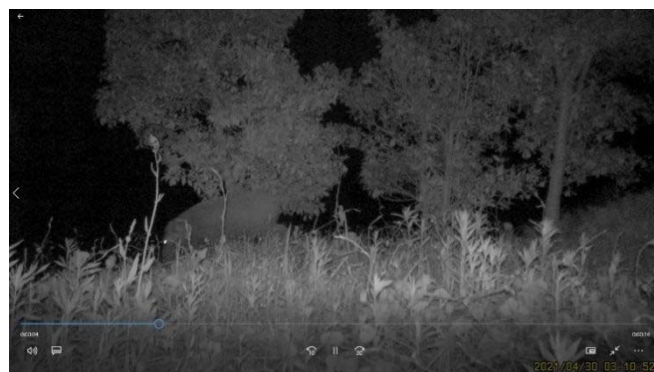
■センサーカメラによるイノシシ等の状況確認

鳥獣被害防止総合対策事業（推進事業）を活用し、令和3年度中にセンサーカメラを8台購入した。地区から獣害の相談があった箇所を設置し、撮れた動画、写真から被害状況の確認や加害個体の侵入経路の確認を行い、地区へ助言等を行っている。地区の獣害対策に活用できるよう運用していく。

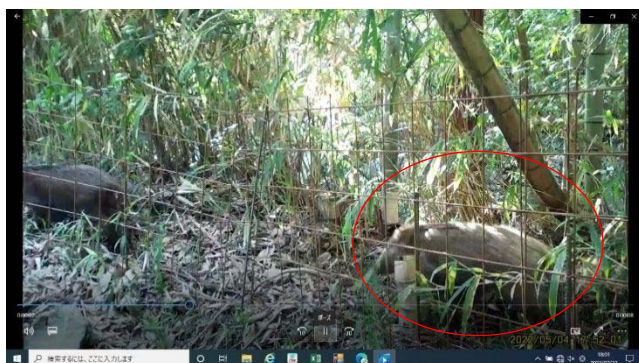
・常田



・上久米



・岡本



・下鴨川



令和4年度センサーカメラ設置地区

地区	設置時期	撮影された獣種
曾我	4月	イノシシ、シカ、アライグマ
常田	4月	イノシシ
上久米	5月	イノシシ
岡本	5月	イノシシ
長谷	5月	イノシシ
下鴨川	6月	イノシシ

■猪ふまず（ししふまず）の検証

一定期間「猪ふまず」を設置し、鳥獣の進入経路にどのような影響を与えるか検証している。

「猪ふまず」は、その材質・形状により地面から少し浮いた形状を保ち、忌避性を高めています。



○岡本地内



○平木地内



○結果

イノシシについては、加害個体が再び現れなかったことから、効果があると思われる。
シカについては、猪ふまずを気にすることなく通過しており、効果が薄いように思えた。
シカとイノシシの歩幅の違いが効果に影響している。

【実績から見る効果と検証】

■被害金額と金網柵の設置率

金網柵設置率別被害金額

(円)

R2年度末設置率 (小数点第1位を四捨五入)	地区数	R3平均被害額
0%	6	167,625
1%～20%	2	283,000
21%～40%	1	0
41%～60%	3	277,362
61%～80%	4	235,219
81%～100%	14	31,159
要望延長未定	17	210,305

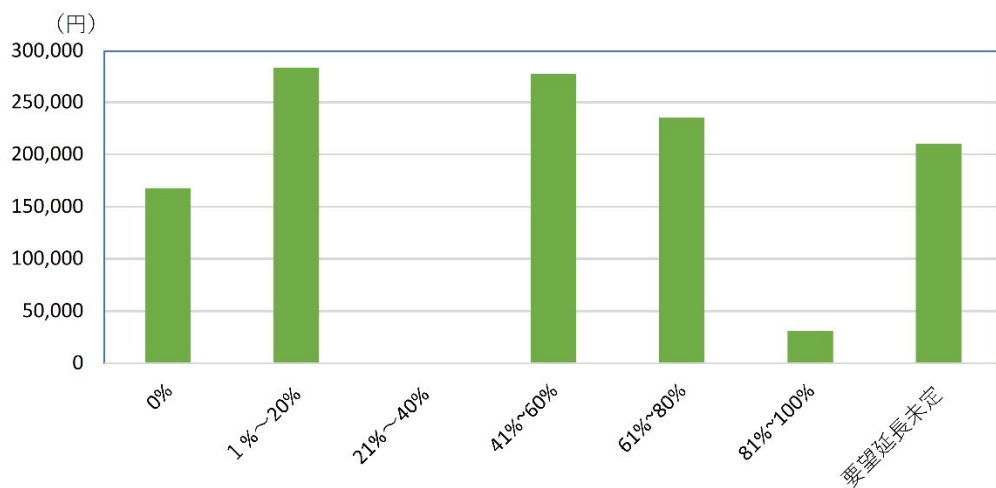
※ 農業共済の被害面積のほか、捕獲要望書及び被害状況報告により把握している被害面積から県単価を乗じて計算

※ 金網柵の設置計画がない地区でイノシシ被害がない地区を除く

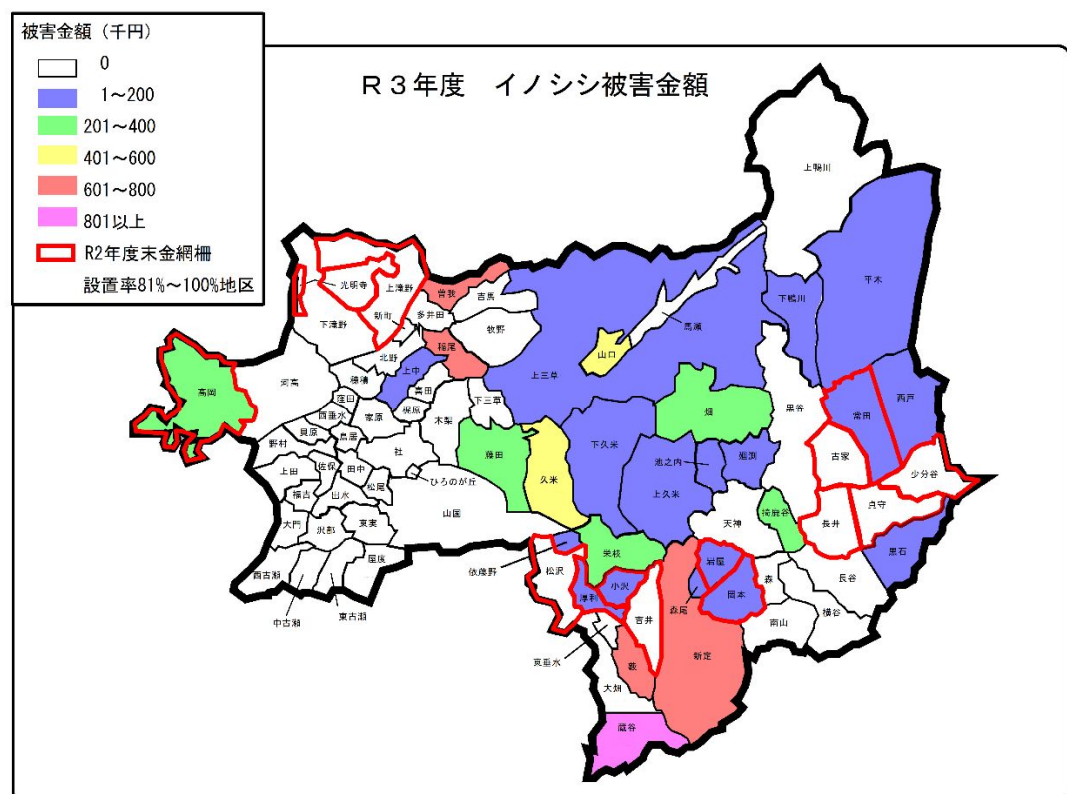
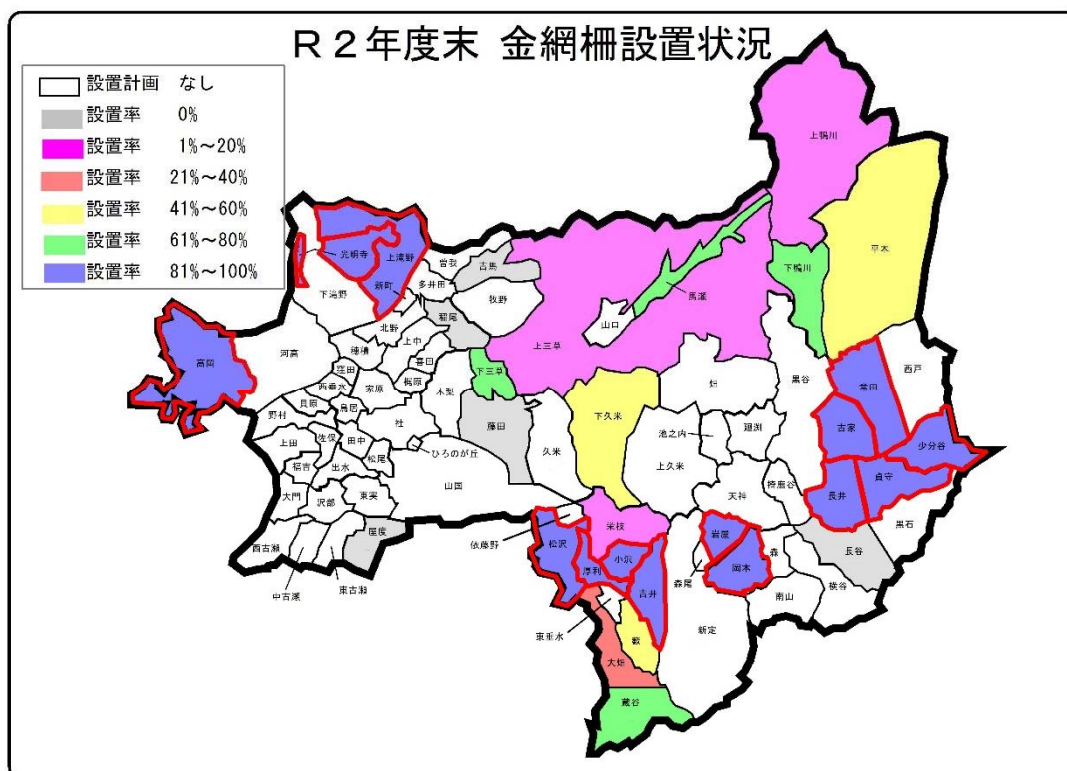
※ 要望延長未定・・・金網柵の設置計画を立てることができていない地区

※ R2年度末設置率＝R2年度末時点の設置済延長/地区計画延長

R2年度末設置率別地区平均被害額



<検証> 金網柵設置による獣害への効果について



R 2 年度末設置率が、1 %~80%の地区は、被害金額が多くなっており、設置率が81%以上になると被害金額は大きく減少している。

金網柵については、地区設置計画の100%近くを設置することで、獣害に対し大きく効果を発揮するため、早急に金網柵の設置を進める必要がある。

【令和4年度からの取組】

■金網柵の早期設置について

令和3年度まで、国庫補助率100%の鳥獣被害防止総合対策事業で県から割り当てられた金額分の金網柵を各地区へ割り振って支給してきた。しかし、その割当てが、令和2年度以降要望の60%程度となっていることから、地区によっては計画通りに金網柵を設置できず、獣害対策に支障が生じている、又は獣害対策を優先するために多面的機能支払交付金事業の活用を図り、その地区計画を変更して金網柵の設置をしたことで、農業用施設の改修計画に遅れが生じているところもある。

金網柵は、設置した翌年度から効果を発揮することや、「金網柵設置による獣害への効果についての検証」のとおり、地区設置計画の100%近くを設置することで、獣害に大きく効果を発揮することから、早急に地区の計画する金網柵を支給する必要があるが、今年度も鳥獣被害防止総合対策事業の割当てが要望の60%程度であった。

そのため、この度「加東市金網柵設置緊急5か年計画」を作成し、地区からの要望に対して国庫補助事業の割当分では不足する分の金網柵について、市町振興支援交付金等を活用し、地区に支給していくことで、イノシシ等による被害の減少を図る。

■加東市金網柵設置緊急5か年計画

活動指標	R4	R5	R6	R7	R8	R9
設置延長（m）	10,405	4,305	4,305	4,305	4,305	0
設置延長の累計（m）	64,497	68,802	73,107	77,412	81,717	81,717
設置延長達成率	78.9%	84.2%	89.5%	94.7%	100%	100%
更新延長（m）	0	0	1,600	1,600	1,940	(1,510)
被害額（千円）	7,356					2,477

※設置延長・・・R4は地区から要望のあった金網柵の延長とし、R5～R8は地区の金網柵の設置計画を按分した延長とする。

※更新延長・・・耐用年数（14年）を経過した延長の2割を見込んでいる。

※R9以降の更新延長については、更新計画を別途作成予定

■ 獣害カルテの作成

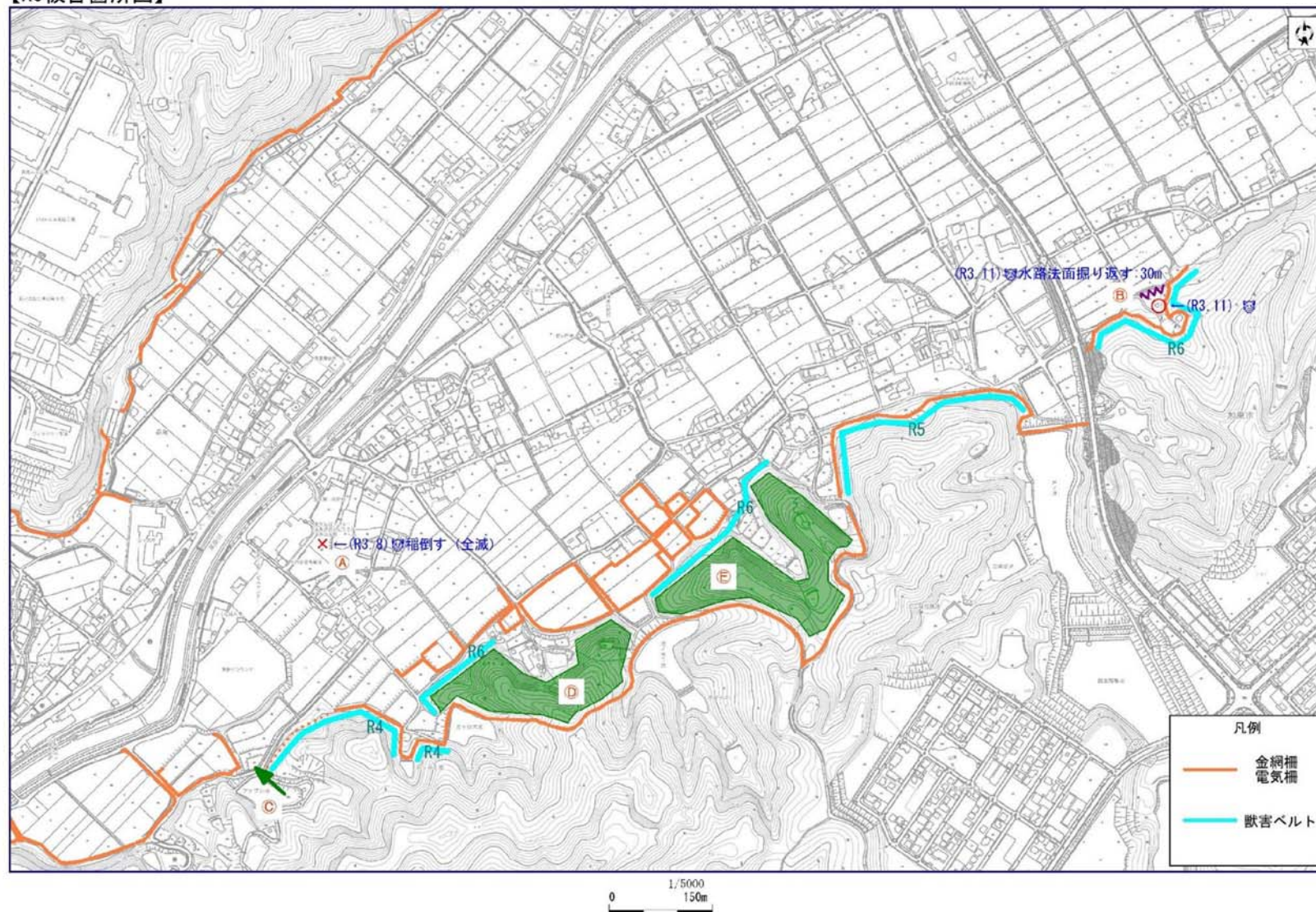
地区ごとに、金網柵の設置状況などの獣害対策状況や被害状況を取りまとめて、対策方法の検討や課題の分析を行い、地区と情報を共有し、各地区に合った獣害対策を進めるために活用していく。

表1 A地区（R3）の課題・対策内容・優先順位のリスト化（作成中の案）

地図番号	課題	対策内容	優先順位
①	イノシシが侵入し稲が全滅	・ 侵入経路を特定する。 ・ ワイヤメッシュ柵や電気柵でほ場を守る。	
②	神社進入路付近の藪からイノシシが侵入し、水路法面を掘り返す。	・ 電気柵により農作物被害はなし。 ・ 「猪ふまず(ししふまず)」を市が試験的に設置したところ、設置個所の被害はなかったが、設置していない箇所は掘り返された。 ・ 潜み場となっている藪の伐採を行った。	
③	侵入防止柵を設置していない箇所が、イノシシの進入路となっている可能性がある。	・	
④	侵入防止柵(金網柵)とほ場との間に潜み場となる森林がある。	・ 獣害ベルトをR6に実施予定	
⑤	侵入防止柵(金網柵)とほ場との間に潜み場となる森林がある。	・ 獣害ベルトをR6に実施予定	

【R3被害箇所図】

A地区



【総括及び今後の方針について】

「地域ぐるみで取り組む集落柵整備と加害個体の集中捕獲」を取組方針として、獣害対策の施策を実施してきた。特に、金網柵の設置を推進しており、被害金額と金網柵の設置率を見ても、金網柵は、地区が計画している延長を 100%近く設置することで、大きく効果を発揮している。

しかし、鳥獣被害防止総合対策事業の割当てが、令和 2 年度以降要望の 60%程度となっており、国庫補助の範囲内で事業を展開してきたため、地区の要望する金網柵の延長を支給できず、金網柵の設置に遅れが生じている。獣害の減少を図るため、「加東市金網柵設置緊急 5 か年計画」に沿って、国庫補助事業で支給できない金網柵について、市町振興支援交付金等を活用した市単独事業として、地区が要望する全ての金網柵を支給していく。

猪ふまずについては、今後も検証を重ね、獣害対策に有効と判断できれば、電気柵等と同じ加東市農作物等獣害防護対策事業補助金の対象に追加することを検討する。

また、市から地区への一方的な施策とならないよう、地区の獣害対策への助言を行うためのセンサーカメラの設置や、鳥獣対策サポーター派遣支援事業を活用し、地区が主体的に鳥獣害対策に取り組む環境づくりを進めるほか、地区と協同して獣害カルテを作成し、その地区に合った対策を地区と協議しながら行っていく。